要請番号（JL00918A18）

募集終了

国名	職種コード 職種	年齢制限	活動形態	区分	派遣期間	派遣隊次
マレーシア	H113 作業療法士		個別	新規	2年	・2018/3・2018/4・2019/1

【配属機関概要】

1）受入省庁名（日本語）

女性家族社会開発省

2）配属機関名（日本語）

サラワク州福祉局

3）任地（ サラワク州シブ ） JICA事務所の所在地（ クアラルンプール ）

任地からJICA事務所までの交通手段、所要時間（ 飛行機+車 で 約 3.5 時間 ）

4）配属機関の規模・事業内容

サラワク州福祉局では、障害者・子ども・高齢者・青少年・災害時の支援など社会的弱者の支援を行っている。障害者部門では、障害者の登録や支援・各サービスの提供している。州全体で51か所にのぼる地域社会に根差したリハビリテーションセンター(CBRセンター)を統括管理している。CBRセンターは南部(クチン)・中部(シブ)・北部(ミリ)に分かれ各支所がそれぞれ管轄している。所属の療法士による巡回リハビリテーションや小規模作業所の運営など障害者福祉の向上に取り組んでいる。近年は、南部地区で2015年1次隊・作業療法士、2016年1次隊・体育のJVが活動をしていた。シブ支所管轄のCBRセンターは全15ある。

【要請概要】

1）要請理由・背景

マレーシアのCBRセンターは障害児・者の支援施設として、地域社会に根差したサービス提供を目標としている。シブ支所では言語聴覚士・理学療法士・作業療法士を各1名採用し、小規模作業所運営以外にもリハビリテーションや訪問指導等を行っている。主な利用者は、知的障害を伴うダウン症や自閉症、脳性まひの方が多く、学校進学できない重度障害のある子どもや学校卒業後、就職できなかった成人が多い。各CBRセンターでは有償ボランティアとしてスタッフが働いているが、障害児・者支援に対しての知識がほとんどなく、福祉局主催の研修などに参加して学んでいる。今回は、障害者福祉の更なるサービス拡充、また広大な範囲を効率よく管理・指導できるようにスタッフの知識向上を目的としてボランティア要請となった。

2）予定されている活動内容（以下を踏まえ、隊員の経験をもとに関係者と協議して計画を立て、柔軟に内容を変更しながら活動を進めます）

ボランティアはシブ市内近郊のCBRセンター4カ所の巡回指導を中心に行う。
1. 利用者に対するリハビリテーションの質向上のため、障害に応じた技術の提案や、身近な素材を利用した自助具やリハビリテーション装具の紹介を同僚療法士と協働してCBRセンタースタッフへ広める。
2. 利用者が出来る限り身辺自立出来るよう、感情コントロールや日常生活スキル向上のアクティビティを同僚と共に考え推進する。
3. 障害児・者支援に関するワークショップ・研修会を同僚療法士たちと協力して企画運営する。
4交通機関が船のみの遠隔地への巡回指導を同僚スタッフと実施し、ニーズを把握しながら、効果的な支援を提案する。

3）隊員が使用する機材の機種名・型式、設備等

各CBRセンターにより異なるが、ミシンやさおり織り機などがあるセンターもある

4）配属先同僚及び活動対象者

言語聴覚士(女性30代 経験3年)
作業療法士(女性30代 経験3年)

理学療法士(女性30代 経験3年)
各CBRセンター主任(経験5年-)

利用者は主に知的障害等のある幼児から成人まで

5）活動使用言語	6）生活使用言語	7）選考指定言語
マレー語	マレー語	

【資格条件等】

[免許]：（作業療法士）

[学歴]：（大卒）　備考：同僚と合わせるため

[性別]：（　　）　備考：

[経験]：（実務経験）5年以上　備考：同僚に指導するため

任地での乗物利用の必要性

自転車

【地域概況】

[気候]：（熱帯雨林気候）　気温：（25～35°C位）

[電気]：（安定）

[通信]：（インターネット可）

[水道]：（安定）

【特記事項】

COPYRIGHT(C)1995-2015 JAPAN INTERNATIONAL COOPERATION AGENCY. ALL RIGHTS RESERVED.